

特殊車両の適正運行の促進 好事例

確認の徹底(A) 教育強化(B) 情報の共有(C) 荷主への対応(D) その他(E)



日本陸送株式会社 東富士営業所

荷主への車両制限令の周知/貨物情報遵守の働き掛け

社員に対する特殊車両適正運行についての教育の強化と特車許可証・車両情報の全体共有

会社概要

昭和37年に富士重工業(株)の商品車を陸送する目的に発足し、会社として昭和40年7月設立。現在、各種自動車メーカーの商品車を信越、関東、中部、関西地区を主に、キャリアカーを使用し輸送。近年は内陸における顧客の輸出入貨物輸送に 대응べく、海上コンテナ事業部を発足し、平成19年4月より本格的に業務開始。



取組概要

取組① 働き方改革と荷主様への対応 (D)

荷主と輸送会社の「法令遵守」に対する認識を合わせる為、「車両制限令/特殊車両通行許可制度の周知」や貨物情報に不備があった際のリスクなど、各荷主を訪問し説明を行う活動を行い、「特殊車両通行許可証により通行できる区間・条件」や「積める重さと運べる重さの違い」などを重点にピックアップした周知活動を行っている。

取組② 社員に対する継続的な法令教育 (B)

7営業所の社員に対して特殊車両通行許可制度の教養を年に1回以上実施し、特車許可証の見方や交通事故防止等幅広く教養を実施し社員のレベルアップを図っている。

取組③ 車両管理・許可証情報の見える化・システム化 (A・C)

300台程の特車許可内容における、有効期限・配布状況や回収状況・車両情報・車両異動・トレーラ連結可能リストを入力してデータ管理(Excel)している。現在では、システムにて車両・許可証管理の新たな運用も開始。

取組④ 許可ルートへの地図化による徹底と情報共有 (C)

ドライバーが見やすいワンペーパー式地図の印字とそのルートを会社で把握し共有している。また、Excelを用いて、出発地→目的地を入力し、標準の許可経路を「道路名称表示」する仕組みを構築中。

取組⑤ 特車許可制度の一連の業務管理システムの開発 (A・C)

許可の申請から、許可内容、有効期限、更新時期、許可の配布状況や回収状況等を一元化して把握できるようなシステムを開発し、運用試行中である。(グループ会社：ニッコン情報システム様にて開発)
Excel・システムにて、「申請予定～許可状況～許可証管理～棚卸」という仕組みで管理・共有をしている。



取組② 社員に対する継続的な法令教育

取組②・⑤ 車両・許可証管理システムの状況